



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「魚肉練製品の消費額」と「保育所の待機児童数」です。



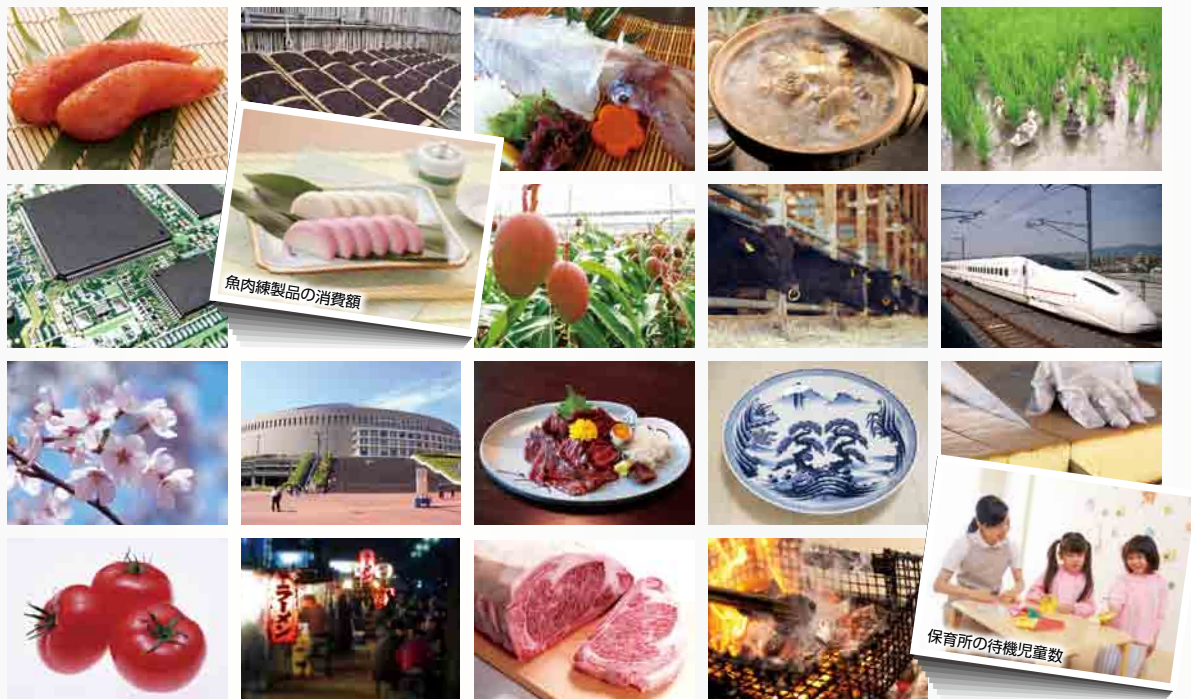
魚肉練製品の消費額

検索



保育所の待機児童数

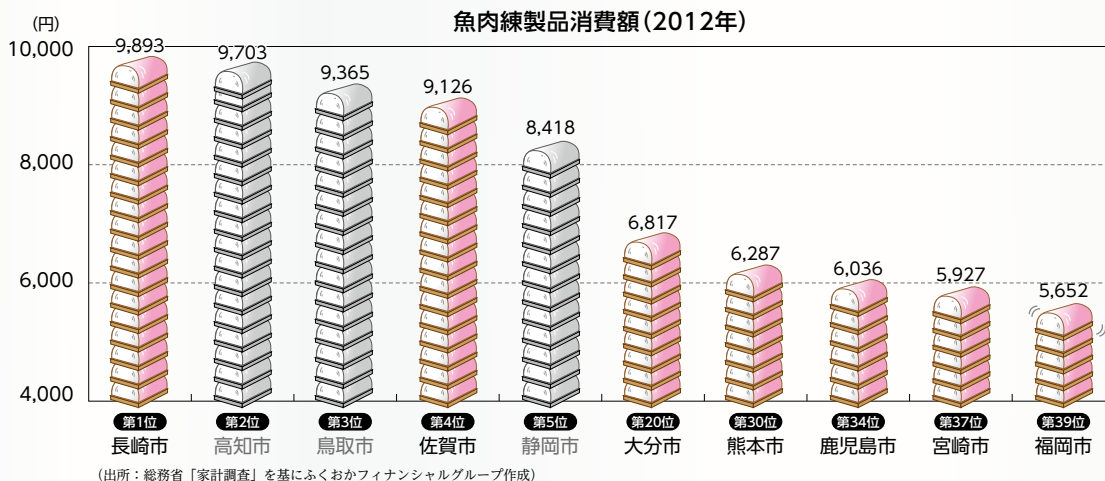
検索



魚肉練製品の消費額

海に囲まれる島国日本では、昔から多くの魚介類を手軽に摂取出来る蒲鉾等の魚肉練製品が食されてきました。魚肉練製品の年間消費額（1人あたり）を見ると、長崎市が1位（9,893円）、佐賀市が4位（9,126円）等、九州の都市が上位を占めています。全国でも屈指の好漁場があることに加え、ちゃんぽんや煮物といった家庭料理に蒲鉾等が使われる機会も多く、多様な水産加工品を食す文化が根付いていることが背景にあります。

蒲鉾製造業者や行政等が連携して長崎蒲鉾のブランド化を目指す「長崎かんぼこ王国」等の取り組みが広まり、魚肉練製品は、魅力溢れる伝統の味として九州の食文化を支え続けています。

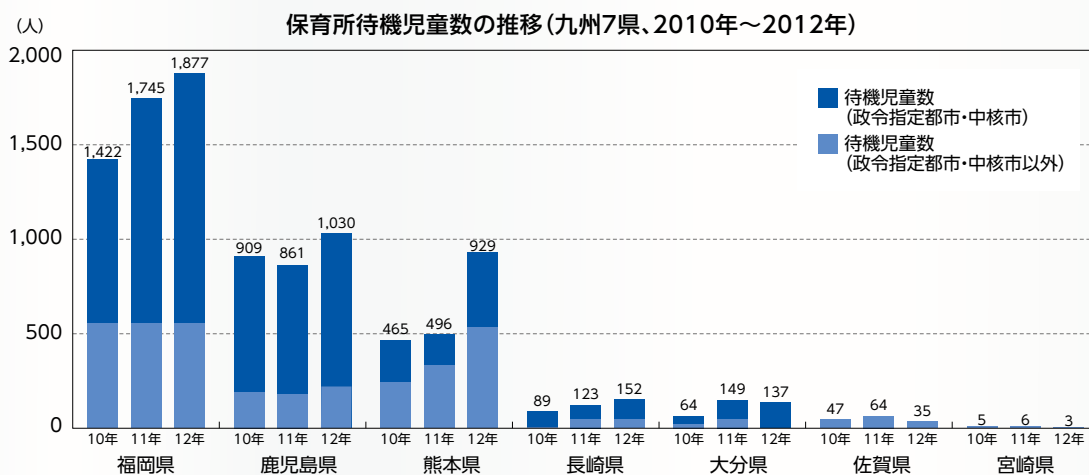


保育所の待機児童数

近年、保育所の待機児童（保育所の入所申請をしているが、満員等の理由で入所出来ない児童）の増加が問題になっています。待機児童は、福岡県、鹿児島県、熊本県に多く、特に企業等が集積し、女性の就労機会が豊富な政令指定都市・中核市を中心に、待機児童が多い様子が窺えます。

保育所（厚生労働省所管）は、幼稚園（文部科学省所管）とは異なり、0歳児からの入所が可能で、保育時間も夕方まで対応している施設が一般的です。こうした特長から保育所は、乳幼児を持つ共働き世帯の心強い味方と言えますが、近年はそのメリットを享受出来ない家庭も増えています。

今後は、高い就労意欲を持つ母親の仕事と子育ての両立支援と、我が国の構造問題（少子化、人口減少等）への対応策の一つとしても、保育所の待機児童解消に向けた取組強化が一層求められます。



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、鉄鋼が上昇した一方で、中国向け自動車輸出の落ち込みの影響が残る輸送機械が低下する等、概ね横ばいで推移しています。

大型小売店販売額は、百貨店の販売増加が全体を下支えし、好調だった前年並みの水準を維持しました。住宅建設は、消費税増税を意識した着工により前年を上回りました。

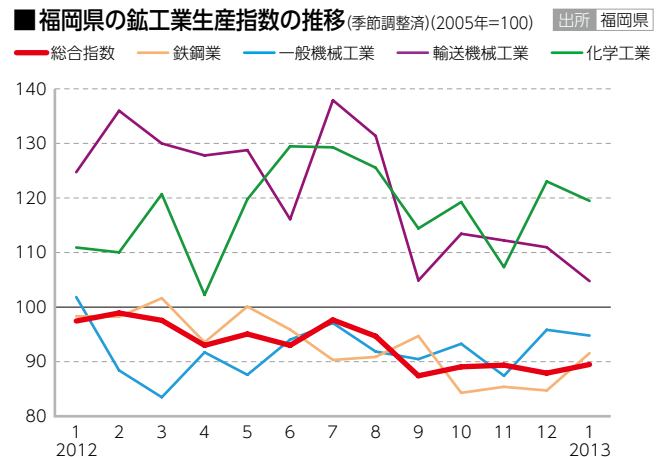
福岡県の景気は、消費や住宅建設、公共工事等が堅調に推移しており、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

(田中 義一)

1.生産活動 | 概ね横ばいで推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は89.5と前月比1.7%上昇しました。

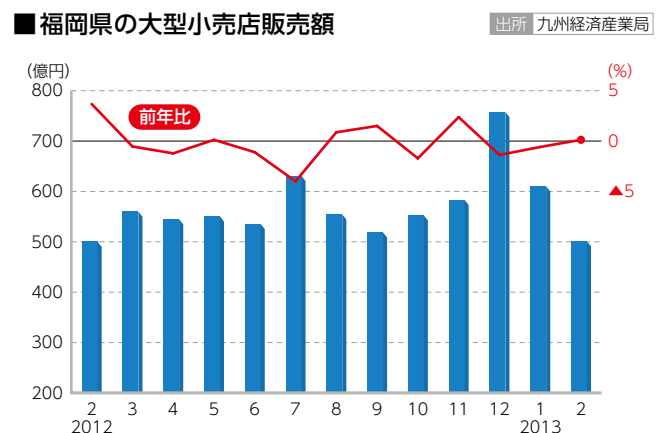
主要業種では、特殊鋼等が増産となった鉄鋼が上昇した一方、中国向け自動車輸出の落ち込みの影響が残る輸送機械が低下する等、生産は概ね横ばいで推移しています。



2.大型小売店 | 好調だった前年並みの水準を維持

2月の大型小売店販売額は、前年とほぼ同水準の500億円(前年同月比0.1%増)となりました。

衣料品・身の回り品の販売が伸びた百貨店が全体を下支えし、新博多駅ビルの開業効果の継続等で好調だった前年同月並みの水準を維持しています。



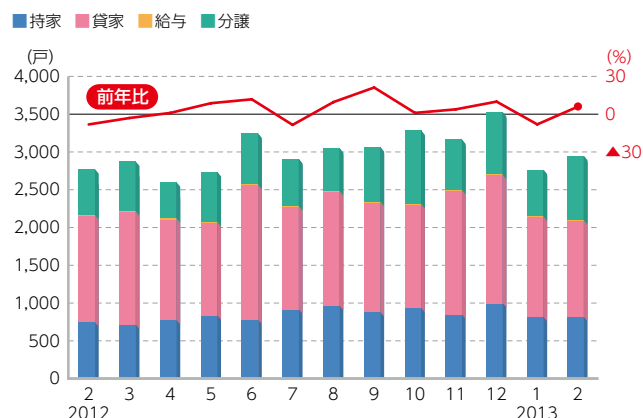
3.住宅建設 | 好調に推移している

2月の新設住宅着工戸数は、2,938戸と前年同月比6.2%増加し、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

貸家は前年を下回ったものの、消費税増税を意識した駆け込み需要により「持家」「分譲（戸建）」が引き続き好調に推移しました。また、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数も、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きが継続しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



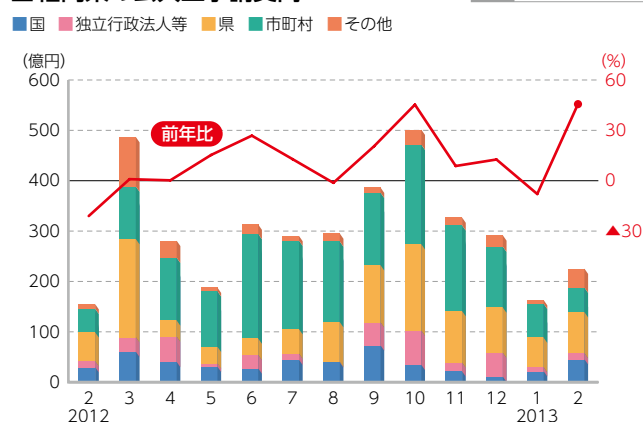
4.公共工事 | 持ち直しの動きが続いている

2月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比変わらず507件、金額は同45.2%増の225億円となりました。

発注者別では、私鉄の立体交差工事があった「その他」や、トンネル工事等の大型案件のあった「国」が大きく増加する等、持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産発生は総じて抑制

3月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比31.0%減の29件、負債総額が同77.3%減の28億円となりました。

卸売業等で1億円以上の倒産が複数あったものの、負債総額、件数共に、3月としては比較的低水準にとどまり、倒産発生は総じて抑制されています。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、一部に弱さも見られます。

住宅建設は、消費税増税を意識した着工により前年を上回りましたが、大型小売店販売額は、高額商品や主力の衣料品、飲食料品が不調で、前年を下回りました。

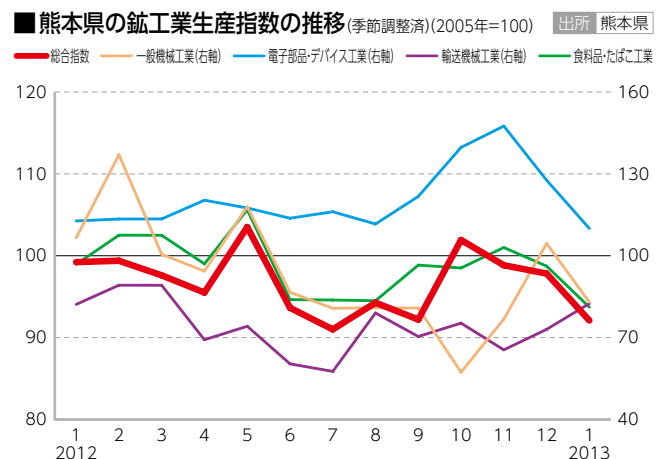
熊本県の景気は、住宅建設が好調に推移する一方、生産活動の一部に弱さも見られる等、総じて横ばいで推移しています。

(田中 義一)

1.生産活動 | 概ね横ばいの中、一部に弱さも見られる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.0となり、前月比5.8%低下しました。

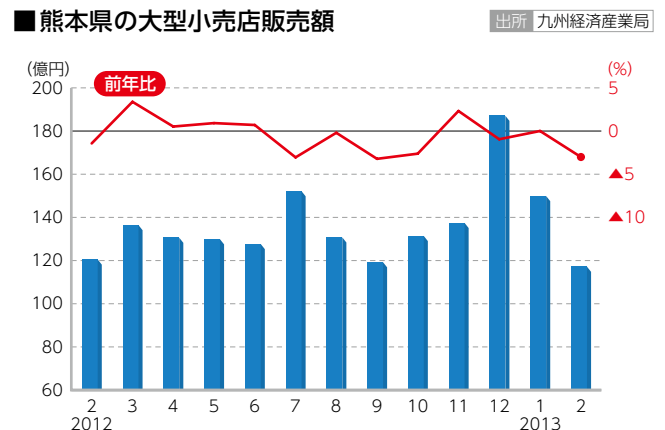
業種別では、輸送機械に持ち直しの動きが見られるものの、スマートフォン向け集積回路の生産が減少した電子部品・デバイス、半導体製造装置等の減産があった一般機械が低下する等、一部に弱さも見られます。



2.大型小売店 | 弱含みで推移している

2月の大型小売店販売額は、前年同月比3.0%減の117億円となりました。

宝飾品等の高額商品や衣料品が不調だった他、主力の飲食料品では、うるう年だった前年より営業日が1日少なかったことも売上減少に繋がり、全体でも前年を下回りました。



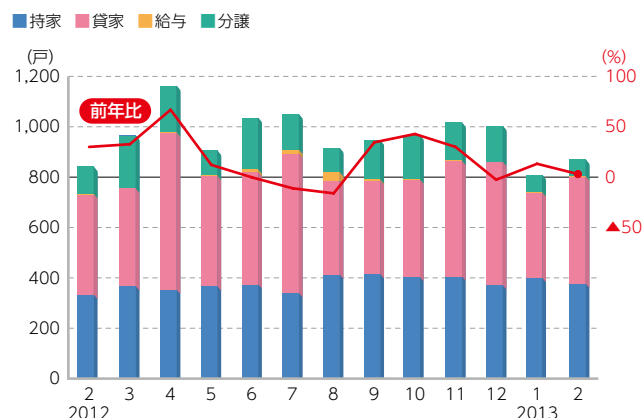
3.住宅建設 | 好調に推移している

2月の新設住宅着工戸数は、869戸と前年同月比3.3%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

「持家」「分譲(戸建)」が消費税増税を意識した駆け込み需要により、前年を上回った他、貸家も好調に推移しました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



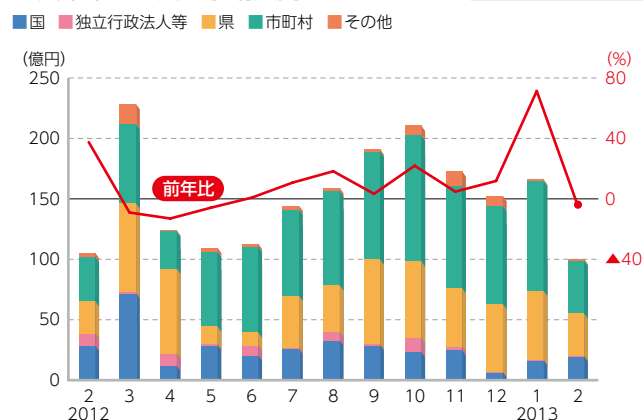
4.公共工事 | 足元は、持ち直しの動きが一服

2月の公共工事保証請負状況は、件数は475件で前年同月比37.3%増加し、金額は102億円で同3.2%減少しました。

大型案件が前月に集中した反動もあり、2月単月では前年を小幅に下回りました。なお、熊本県の2013年度の予算において、公共事業費は前年度比11.6%増の約1,371億円を計上しており、今後は再び、増加が見込まれます。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 飼料販売業で大型倒産が発生

3月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の8件、負債総額が同25.0%増の14億円となりました。

飼料販売業で大型の倒産が発生した影響で、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

生産活動は、電子部品・デバイス、一般機械の増産が牽引し、総合指数は3ヵ月連続で上昇しました。

大型小売店販売額は、昨年末からの大型スーパーの開業効果もあり、前年並みの水準を維持しました。住宅建設は前年を下回ったものの、着工戸数増加に向けた動きが継続しています。

長崎県の景気は、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

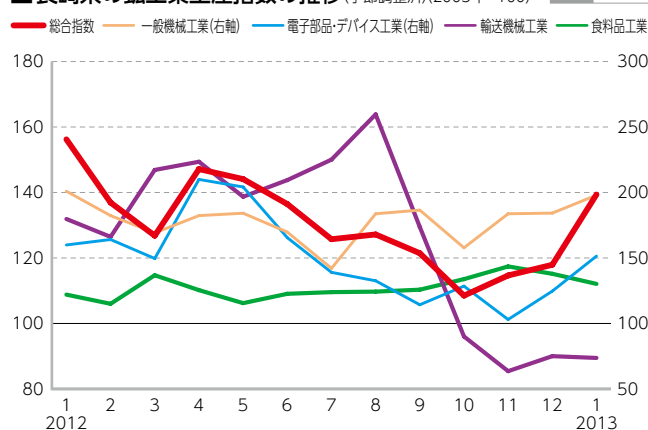
(田中 義一)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比18.2%上昇の139.0となり、3ヵ月連続で上昇しました。

主要業種では、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスの他、新興国向けの発電用タービン等の生産が増加した一般機械が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 長崎県

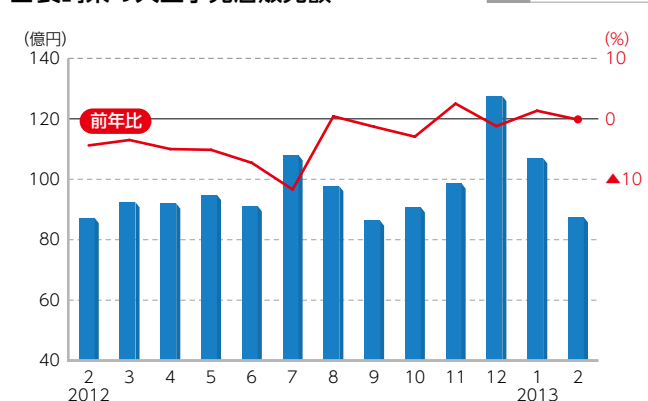


2.大型小売店 | 大型店開業効果の継続により、前年並みの水準を維持

2月の大型小売店販売額は、前年とほぼ同水準の87億円(前年同月比0.1%減)となりました。

昨年末から大型スーパーが相次いで開店した効果が継続しており、主力の飲食料品が好調で、全体でも前年並みの水準を維持しました。

■長崎県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





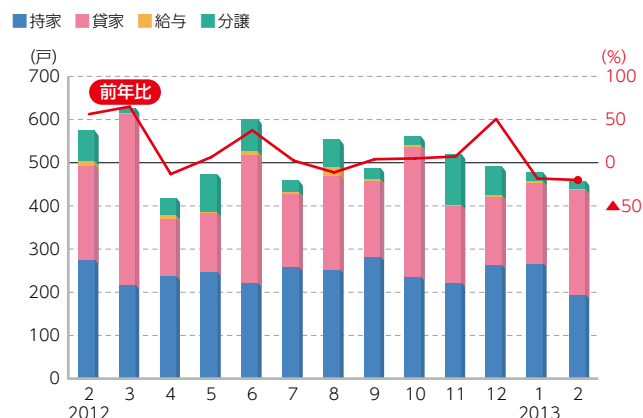
3.住宅建設 | 着工戸数増加に向けた動きは継続

2月の新設住宅着工戸数は、457戸と前年同月比20.4%減少し、前年を下回りました。

「分譲(マンション)」で着工が無かった影響が大きく、全体でも前年を下回りました。なお、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数は、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きは継続しています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



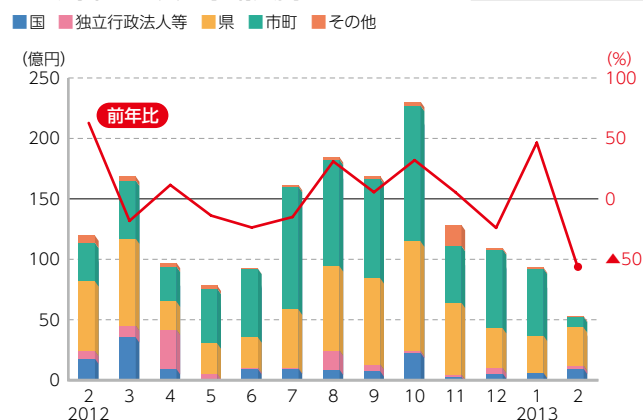
4.公共工事 | 足元は、持ち直しの動きが一服

2月の公共工事保証請負状況は、件数は265件で前年同月比24.5%減少し、金額は53億円で同55.6%減少しました。

前年同月にあった大型案件が今月は無く、すべての発注者で前年を下回りました。なお、長崎県の2013年度の予算(12年度2月補正含む)において、公共事業費は前年度比23.5%増の約1,129億円を計上しており、今後は再び、増加が見込まれます。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産発生は総じて抑制

3月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は、装飾品製造販売業で大型の倒産が発生した影響で、負債総額は前年同月比41.3%増の約4億円となりました。

なお、件数は同66.7%減の2件にとどまり、倒産発生は総じて抑制されています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、食料品が増産した一方で、電子部品・デバイスの生産はほぼ前月並みの水準にとどまりました。

住宅建設は、「貸家」が増加した影響が大きく、前年を大幅に上回りましたが、大型小売店販売額は、衣料品、飲食料品が振るわず、前年を下回りました。

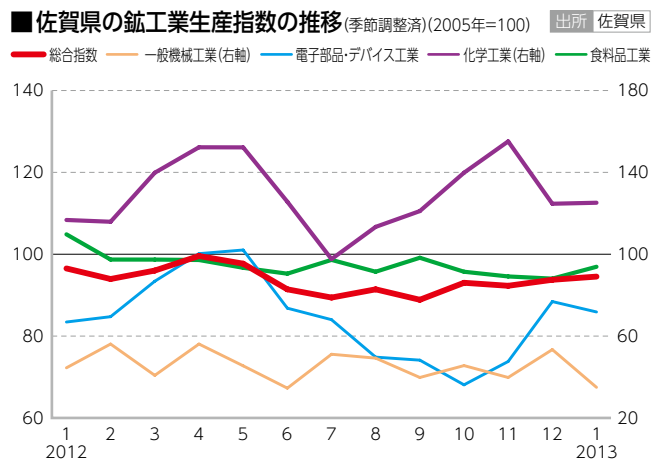
佐賀県の景気は、好調な住宅建設など、一部に明るさは見えるものの、総じて横ばいで推移しています。

(田中 義一)

1.生産活動 | 概ね横ばいで推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は94.5となり、前月比1.0%上昇しました。

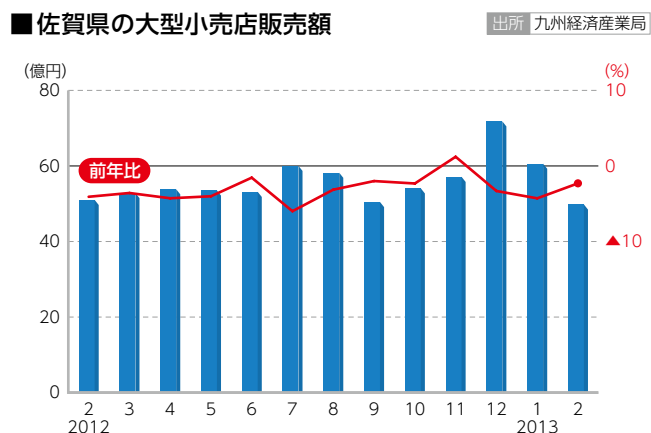
主要業種では、肉製品等の生産が増加した食料品が上昇した一方で、前月シリコンウェハの生産が好調だった電子部品・デバイスはほぼ前月並みの水準にとどまった他、金属工作機械が減産となった一般機械が低下しており、全体では、生産は概ね横ばいで推移しています。



2.大型小売店 | 弱含みで推移している

2月の大型小売店販売額は、前年同月比2.3%減の50億円となり、3ヵ月連続で前年を下回りました。

衣料品が振るわなかった他、主力の飲食料品では、うるう年だった前年より営業日が1日少なかったことも売上減少に繋がり、全体でも前年を下回りました。





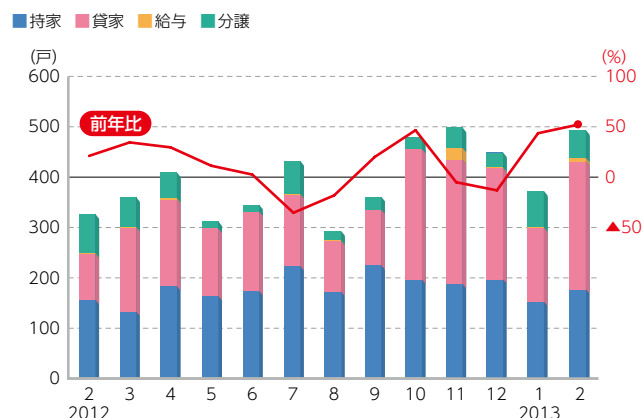
3.住宅建設 | 好調に推移している

2月の新設住宅着工戸数は、「貸家」が増加した影響が大きく、前年同月比51.2%増の493戸と、前年を大幅に上回りました。

消費税増税を意識した駆け込み需要により「持家」が好調を維持している他、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数も、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きが継続しています。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



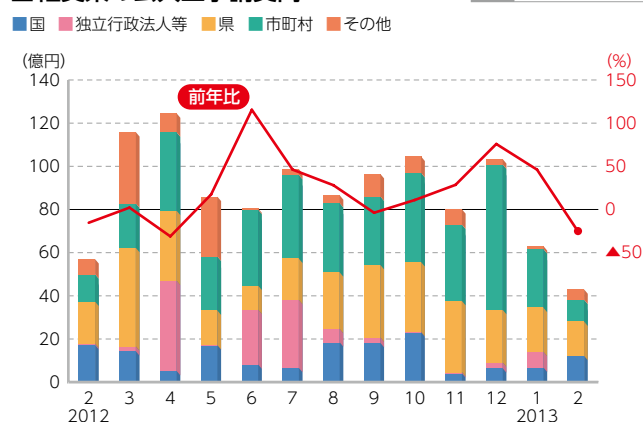
4.公共工事 | 足元は、持ち直しの動きが一服

2月の公共工事保証請負状況は、件数は199件で前年同月比12.7%減少し、金額は43億円で同24.8%減少しました。

新幹線関連等の大型案件により大幅に増加した前月1月からの反動もあり、2月単月では前年を下回りました。なお、佐賀県の2012年度2月補正予算において、公共事業費は追加で約202億円を計上しており、今後は再び、増加が見込まれます。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | ゴルフ場経営業で大型倒産が発生

3月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は、件数が6件と前年同月と同水準でしたが、負債総額はゴルフ場経営業で大型の倒産が発生した影響が大きく、前年同月の約6.6倍の23億円となりました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

